

学生選書 2014

～わたしが図書館の本を
選んじゅりました～



学生選書で選ばれた本のなかから、
レビューを交えて、一部をご紹介します！



私が選んだ本のレビュー

■ [データの見えざる手：ウェアラブルセンサが明かす人間・組織・社会の法則 / 矢野和男](#) 著【理工学図書館】

「結局、ビッグデータってなに？」と思っている人に。

(工学研究科 M2 馬庭啓史)

■ [パナソニック・ショック / 立石泰則](#) 著【理工学図書館】

会社はどこから来て、どこへ向かうのか。企業における創業精神の重要性や、経営者に問われる能力とは何かを考えさせられる本。パナソニックを題材としているが、どの会社にも訪れうる経営の問題について書かれている。将来大企業で働きたいと考えている人に読んでほしい本です。

(工学研究科 M2 馬庭啓史)

■ [電子部品だけがなぜ強い / 村田朋博](#) 著【理工学図書館】

「他人と違うことをする」ことを徹底した経営者達の成功事例を様々な視点から解説した本。安定志向の人に読んでほしい内容。

(工学研究科 M2 馬庭啓史)

★ ★ ★

■ [FPGA 版 Arduino!!Papilio で作るデジタル・ガジェット：VGA 表示/音楽再生から SDR/動画処理まで、できることがパツと広がる / 横溝憲治 \[ほか\] 著](#)【理工学図書館】

ロジック回路から自身で組み立てられる FPGA。本書では FPGA の設計・運用を開発が容易な Arduino と組み合わせたツールの紹介と実際の開発について述べる。

(情報科学研究科 M1 W. T.)

■ [Haskell による並列・並行プログラミング / サイモン・マーロウ](#) 著；[山下伸夫](#), [山本和彦](#), [田中英行](#) 訳【理工学図書館】

近年注目を浴びている Haskell、実際に取り入れる企業も増えてきた。本書では関数型言語の強みを活かす平行プログラミングの手法を紹介。

(情報科学研究科 M1 W. T.)

■ [PIC ではじめるアナログ回路 / 後閑哲也](#) 著【理工学図書館】

マイコンを用いたデジタル回路は構成も非常に容易である。しかしアナログ回路となると不慣れな人が多いのではないかと。センサを扱う場合必須となる基礎知識の確認と実際の利用手法が掲載されている。

(情報科学研究科 M1 W. T.)

■ [STM32 マイコン徹底入門：ARM Cortex-M3 コア内蔵マイコンで組み込みシステム開発 / 川内康雄](#) 著【理工学図書館】

高機能マイコンの代表ともいえる STM マイコンが触りたいという人におすすめ。マイコンの内部構造から利用方法までしっかり紹介されており高密度。

(情報科学研究科 M1 W. T.)

■ [プログラミング Erlang / Joe Armstrong](#) 著；[榊原一矢](#) 訳【理工学図書館】

サーバー構築などに利用されている Erlang。企業でも採用しているところが多いが実際に学生のうちに学ぶ機会は少ない。Erlang の基礎から平行プログラミングまで実例を交えて説明されている。

(情報科学研究科 M1 W. T.)

■ [一流の研究者に求められる資質 / 志村史夫著](#) 【理工学図書館】

選者が博士課程に進むか悩んだときに読んだ一冊。読みやすい文章だが研究者、また社会貢献するような職種において必要であろう内容がまとめられている。 (情報科学研究科 M1 W. T.)

★ ★ ★

■ [現代日本の「社会の心」：計量社会意識論 / 吉川徹著](#) 【生命科学図書館】

今、日本人は何を感じ、世の中をどうとらえるのか。最新の統計データから「社会の心」を読み解く阪大教授吉川先生の近著は、社会学分野に限らずすべての人にすすめたい。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ [スマート化する放送：ICTの革新と放送の変容 / 日本民間放送連盟・研究所編](#) 【生命科学図書館】

スマートテレビの普及やネット選挙の解禁など、放送業界の転換期を分析する最新のメディア研究。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ [オタク的想像力のリミット：「歴史・空間・交流」から問う / 辻泉, 岡部大介, 伊藤瑞子編](#) 【生命科学図書館】

あらゆるジャンルのオタクを真摯かつ大胆に論ずるオタク論説集。オタクを自認する人もそうでない人も、まずは目次を開いてほしい。きっと気になる章があるはず。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ [宇宙人類学の挑戦：人類の未来を問う / 岡田浩樹, 木村大治, 大村敬一編](#) 【生命科学図書館】

宇宙人類学。それは旧来の人類学の窮屈になったフィールドを飛び出し、宇宙という広大なフィールドに挑む新たな学問。阪大教授大村先生も参加している、果てしなく将来性のあるこの分野を知るための一冊。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ [「子どもの自殺」の社会学：「いじめ自殺」はどう語られてきたのか / 伊藤茂樹著](#) 【生命科学図書館】

「いじめ自殺」報道を私たちは心を痛めるだけで通り過ぎてこなかっただろうか。現状からの問題解決に取り組む一冊。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ [働かない：「怠けもの」と呼ばれた人たち / トム・ルッツ著](#) 【生命科学図書館】

働かないことは人類の共通の夢。表紙、タイトルからとても魅力的な、怠けものから考える労働と文化の歴史。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ [括弧の意味論 / 木村大治著](#) 【生命科学図書館】

無意識に使っている「」カッコ、にどんな意味があるのか？丸々一冊カッコの本、というところに惹かれた。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ [メディアの臨界：紙と電子のはざままで / 粉川哲夫著](#) 【生命科学図書館】

「本も捨てず、コンピューターも拒否せずに」という表紙の言葉に惹かれた。二者択一ではないメディアの未来を考える一冊。 (人間科学部 2年 中田万葉)

■ 子どもへのまなざし / 佐々木正美著【生命科学図書館】

【現役塾講師・家庭教師の方、教師志望者の方必見】

教育熱心なあなたへ。本書で教育の本質について考えてみませんか？

「教育」に関して本質的なことが書かれた名著です。現在、日本の幼児教育(いや幼児～大人の教育まですべてにおいてかもしれません)において、教える側が早急な結果を求めるあまり、必要以上に教えすぎることによって、学習者が、かえって学習意欲をそがれるという傾向があります。しかし、この著者は「待つ」ことこそが教えることの本質だと主張しています。つまり、環境さえ整えてあげれば、時期がくれば、学習者は自然と自分の足で進みだすのだと。それまでは、教育者は、「焦らずに地道に待つ」という姿勢が大切なのです。

僕自身、かつて「与え過ぎの勉強」をさせられた経験があり、学習が嫌になった時期もあったので、目からウロコの一冊でした。みなさんも、激しい受験勉強を乗り越えて、大阪大学に入学されたので「勉強をさせられた人」が意外に多いのではないのでしょうか。もちろん、そういった勉強にも一定の価値はあると思いますが、本書で「待つ」という教育方法を知っていただき、自分自身の教育に関する価値観を広げていただければ嬉しいです^^

※ なお、本書は3部作ですので、ぜひ第1部だけでなく、第2部、3部も読んでいただければと思います。そして、友達とかに薦めていただけるとうれしいです★ また将来結婚後に、読み直してご自身の子育てに活かしていただけるとうれしいです！

(医学部保健学科1年 T. U.)



他にもこんな本が選ばれています

【総合図書館】

- 誰が星の王子さまを殺したのか：モラル・ハラスメントの罠 / 安富歩著
- 大阪名所図解 / 綱本武雄画；酒井一光, 高岡伸一, 江弘毅文
- 悪い奴ほど合理的：腐敗・暴力・貧困の経済学 / レイモンド・フィスマン, エドワード・ミゲル著；田村勝省訳
- 誰だってちょっと落ちこぼれ：スヌーピーたちに学ぶ知恵 / 河合隼雄, 谷川俊太郎著；谷川俊太郎コミック翻訳；チャールズ・M.シュルツ装画・本文コミック
- 家族のきずなを考える：少年院・少年鑑別所の現場から / 法務省矯正局編
- 夢、死ね!：若者を殺す「自己実現」という嘘 / 中川淳一郎
- 英語対訳で読む日本の歴史：意外に面白い!簡単に理解できる! / 中西康裕監修
- 学生時代にやらなくてもいい20のこと / 朝井リョウ著

【外国学図書館】

- 戦争の条件 / 藤原帰一著
- 中国語会話とささのひとこと辞典 / 李凌燕北京語監修
- 55人が語るイラク戦争：9・11後の世界を生きる / 松本一弥著
- アメリカン・ルネサンス：批評の新生 / 西谷拓哉, 成田雅彦編

「学生選書」とは、図書館にあったらいいなと思う本を、学生のみなさんに、書店の店頭やWebで選んでいただく企画です。来年も実施予定です。

学生選書についての詳細、ここで紹介できなかった本は、図書館Webサイトに掲載しています。 <http://www.library.osaka-u.ac.jp/gakusen.php>

